

2012年度 第2回日本体外循環技術医学会近畿地方会役員会議事録

日時：平成24年6月16日 14時～16時

場所：大阪ハイテクノロジー専門学校 601教室

出席幹事：畑中、岩本、小林、定、篠原、中村、西垣、土井、山本、吉田（均）、横田、横山

出席監事：地方代表委員：吉田（靖）、赤松、田岡

出席代議員：吉田（秀）

委任状：加納、佐藤

議長：畑中

書記：山本

1. 議事録の署名人について 発言者：畑中代表幹事

近畿地方会役員会議事録に署名人が必要かどうかを吉田（靖）監事に確認した所、不要であると回答。

次回総会で定款改正する議題に挙げることにした。それまでは定款に則り署名人を設ける。

今後は議事録作成し回覧後、次回役員会で議事録署名人に直筆で署名して頂き、ホームページへアップする事とする。

2. 事務局補佐の設置 発言者：畑中代表幹事

畑中会長が事務局補佐として定幹事を指名し、承認を得た。

3. 地方会大会の進行状況 発言者：吉田（均）

会場候補はメルパルク・京都テルサ・ピアザ淡海の3か所であるが、予算と交通の便を考慮すると京都テルサが最有力である。2日目の内容については実技セミナーの有無を含めて今後検討する。実行委員は岩本幹事を委員長とし、畑中代表幹事、篠原幹事、山本幹事、近江草津病院の中川さんと滋賀医大のスタッフ一名が務める。

4. 地方会の理念・事業計画案について 発言者：畑中代表幹事

前回の役員会後に各幹事から寄せられた案を基に、畑中代表幹事が作成した事業案を検討した。

I. 理念について

基本的目標は「情報・交流」と「教育」とし、以下の3点を理念とする

① 地方会員に対する情報発信・交流の強化

② perfusionist の育成

③ 学術的基礎知識に関する教育

○今まで不足していた「情報の発信」を強化と、地方会という立場を生かした細かな教育を理念の中心とする

II. 事業案について

① 「地方会員に対する情報発信・交流の強化」に関わるもの

(ア) ホームページの活用

- (1) 議事録・インシデント情報・勉強会の案内や本部からの安全性情報等の掲載
- (2) 質問箱の設置
- (3) 文献掲載
- (4) スライドおよびマニュアルダウンロード

(イ) 連絡体制の強化

- ホームページには案内やインシデント情報、議事録を掲載し、会員との情報格差をなくす。インシデント情報は広く募集しても報告は期待できないため、まず役員施設から提供してもらうところから始める。
- 会員への連絡には極力郵送を使わず、メール等を用いて郵送費の節約に努める。案内文の紛失や未到達を考えると、郵送とメールとでそれほど効果に違いはないと予想している。ただし、会員メールだけでは不十分なため、各施設の体外循環部門責任者のメールアドレスを近畿地方会で把握し、代表幹事またはブロック長から施設責任者を通じて各会員へ確実な連絡ができる体制を整える。
- 質問箱の回答は役員に義務づけ、担当の割り振りや広報が決定する。回答内容に関する責任を近畿地方会がとることはできないが、症例数の少ない施設の助けとなるよう必ず役員が回答するものにした。
- 文献の検索に不慣れな人のため、文献のタイトルや検索に必要な情報を掲載し、地方会中心でエビデンスを発信するようにする。
- スライドやマニュアルのダウンロードには著作権の委譲交渉や改ざん防止等の問題として挙げられる。

② 「perfusionist の育成」に関わるもの

(ア) トラブルシューティングプログラム

(イ) 施設見学の仲介

- メーカーとトラブルシューティングプログラムを共催する場合、金銭処理・シナリオプログラム・開催回数と問題が多数存在するが、泉工医科工業の施設を使用しての開催については検討余地がある。また会員に斡旋する前に役員がプログラムを体験した上で検討する必要がある。施設見学は仲介のみを行い、スケジュールの調整や内容については希望者と施設担当者で直接交渉してもらう。

③ 「学術的基礎知識に関する教育」に関わるもの

(ア) 教育プログラムの作成

(イ) 論文作成サポート

(ウ) 優秀演題の設定

○勉強会はブロック単位ではなく、近畿地方会として学術担当が企画する。「論文を読み、自施設の体外循環の根拠にできるようになる」といった目標を設定し、一定の期間で継続して勉強会を行う。運営費用が少ない中で講師をどう確保するかが問題となる。目標は学術担当で今後検討する。

○論文の査読やアドバイスを希望する人に対して地方会からサポートを行うが、指導者は役員のボランティアとなる。又、reject された場合の責任なども負いかねる。

○優秀演題賞はステータス・募集数・賞金の問題がある。それ以前に発表演題数の底上げを図るために発表者へのアドバイスや演者の参加費免除等、発表することへのメリットを考慮する必要がある。今後、学術担当で検討する。

Ⅲ.役割担当者案（敬称略）

① 編集担当

*Perfusion saloon の編集業務を事務局より引き継ぐ
岩本（代表者）、横田

② 学術担当

西垣（代表者）、加納、土井

③ 安全・教育担当

篠原（代表者）、吉田、横山

④ 広報担当

小林（代表者）、中村、山本

中村幹事にはホームページの作成と管理を担当して頂く。

⑤ ブロック代表者

*会員への連絡にのみブロック制を活用する。

大阪：岩本

兵庫：横山

京都：篠原

滋賀：吉田

奈良：横田

和歌山：中村

⑥ 地方会大会検討委員会

*地方会大会開催に関するマニュアルを整備し、次々回以降の開催をサポートする
土井（代表者）、中村、横山、岩本

5.次回開催予定日は8月11日土曜日とする。

議長 _____

議事録署名人 _____

議事録署名人 _____